静岡理工科大学附属図書館　No. 66　February, 2020

図書館だより

Shizuoka Institute of Science and Technology Library

TOPICS

1．「全国大学ビブリオバトル」片岡由奈さんが首都決戦出場

地区予選、地区決戦を勝ち抜き、片岡由奈さん（物質生命科学科４年）が「全国大学ビブリオバトル首都決戦」に出場！本学では地区予選も毎年開催しており、今年は７名の学生が「どの本が一番読みたくなったか」を競って熱いプレゼンを繰り広げました。

＜地区予選＞ 令和元年 10 月 27 日（日）会場：静岡理工科大学図書館（出場者７名、２回開催）
☆チャンプ本：１回目　「デフ・ヴォイス」片岡由奈さん（物質生命科学科４年）
２回目　「犯罪」内藤魁人さん（建築学科１年）

首都決戦準決勝で本を紹介する片岡さん
（読売新聞社提供）

＜静岡地区決戦＞ 令和元年 11 月 16 日（土）
常葉大学草薙キャンパス図書館（出場者４名）
本学から３名出場：片岡由奈さん、大石義貴さん（機械工学科３年）、
飯山愛理さん（物質生命科学科４年）
☆チャンプ本：「酒から教わった大切なこと」 片岡由奈さん

＜首都決戦＞　令和元年 12 月 22 日（日）
よみうり追手町ホール（出場者 36 名）
片岡さんが東海 C ブロック（静岡県）代表として準決勝に出場

2．2020 年新規契約電子ジャーナル

アクセス先は図書館ウェブサイトをご確認ください。

ECS Digital Library Package
「Journal of the Electrochemical Society」
「ECS Journal of Solid-State Science & Technology」
「Interface」,「Meeting Abstracts」,
「ECS Transactions」

International Journal of Bilingualism (SAGE)

Vertical Flight Library Educational Bundle
「Journal of AHS」,
「Vertiflite」

Organic Electronics* (ScienceDirect)
*2020 年 4 月からアクセス可

3．新着 DVD

- 12 タイトル -　AV（視聴覚）コーナーで視聴できます！

【映画】
「アラジン」　ディズニーの名作を実写化
「キングダム」　人気漫画の実写映画化
「グリーンブック」　2018 アカデミー賞"作品賞"
「劇場版コード・ブルー -ドクターヘリ緊急救命」
「銀魂 2 掟は破るためにこそある」
「アベンジャーズ エンドゲーム」
「ミッション:インポッシブル フォールアウト」

【一般】
「Peace Nippon」　日本の四季折々の絶景を映画化
「超深海：地球最深（フルデプス）への挑戦」
NHK スペシャル ディープ オーシャン
「世界の巨大ダム」シリーズ巨大建造物を巡る①
「世界の橋」　シリーズ巨大建造物を巡る②
「スマホの真実」　紛争鉱物と環境破壊とのつながり

4．本学教員の著作物紹介

○建築学科 佐藤健司先生著
『建築図法：立体・パース表現から設計製図へ』学芸出版社, 2019.12
【所在】展示架　525.1 / Sa85

○コンピュータシステム学科 幸谷智紀先生著
『多倍長精度数値計算：GNU MP,MPFR,QD によるプログラミング』森北出版, 2019.11
【所在】教科書/東　418.1 / Ko96

読書への羅針盤

谷口 ジョイ 先生（情報デザイン学科）に聞く

「学生のうちに様々なことに挑戦する」

今回は情報デザイン学科の谷口ジョイ先生にお話を伺いました。

谷口先生の子供の頃は、家にテレビやゲーム機が無く、スポーツをしたり色々なことを想像するのが好きだったそうです。また、本を読むことも好きで、小学生の頃は「ファーブル昆虫記」や「大草原の小さな家」が好きだったそうです。

そんな谷口先生は「応用言語学」を専門に研究されています。「応用言語学」とは、言葉が社会の中で実際にどのように使われているか、どのように言葉が教えられているのか、どのように言葉を覚えていくのかを研究する分野です。

なぜこの分野を研究しようと思ったのかお伺いしたところ、大学を卒業する頃に言葉について興味があり言語学について研究したいと思ったからだそうです。先生は、元々は数学科の出身で、大学院から言語学の勉強を始めたそうです。しかも、30 歳前後で大学院に入学したため、子育てと仕事、勉強の両立がとても大変だったと当時を振り返っておられました。

さて、そんな谷口先生がおすすめする本は「神去なあなあ日常」（三浦しをん著）です。

この本は、「何事もなんとなく」で過ごしてきた 18 歳の主人公が、神去村という限界集落に林業の研修を受けに行き、そこでの日常を描いた本です。この本は「Wood job」という映画にもなっていて、小説と見比べるのがとても面白いそうです。

また、他にも、「深い河」（遠藤周作著）に強い感動を受けたとお聞きしました。この本は、様々な壮絶な過去を持った 5 人の日本人が旅行でインドへ行き、そこで彼らが見た光景や感じたことを通じて「人生とは何か」ということを考えさせられる本です。先生はこの本に非常に感動し、学生時代には実際に小説に出てきた地域へ旅行に行かれたそうです。また、この本を読了後、人間とはどのようなものなのかをもっと深く知りたいと思うようになり、現在の道へ進むきっかけのひとつになったとも仰っていました。

谷口先生は読書以外にもとても多趣味で、休日はロードバイクに乗ったり、ヨガをしたり、野球観戦をしているそうです。また、絵を本格的に始めていつか個展を開いてみたいとも・・・。なんと将来は、飼っているヤギを増やして、ヤギカフェを開いてみたいそうです！

最後に、本学の学生へアドバイスをお聞きしたところ、「たくさん読んで、たくさん書いて下さい。」と仰っていました。特に、読むことは時間に余裕のある時にしかできないことなので、みなさんも図書館をどんどん活用し読書量を増やしていきましょう。

谷口先生、お忙しい中、インタビューをさせていただきありがとうございました。

【所在】
「神去なあなあ日常」楽しむコーナー 913.6 / Mi67
「WOOD JOB！神去なあなあ日常」DVD　AV コーナー

インタビュー・記事：情報学部1年　池田智哉

私の選んだ一冊

司書・スタッフ編

『美しき愚かものたちのタブロー』原田マハ 著

戦前、「若者に絵画を見せたい、美術館を日本につくりたい」との思いから、川崎造船所社長の松方幸次郎は莫大な私財を投じて西洋絵画を買い集める。しかし敗戦とともに買い集めた絵画は戦勝国フランスに没収されてしまう。戦時下のフランスに残された絵画を単身命がけで守り抜いた日置。戦後、返還交渉に動き出す吉田茂首相と田代。返還条件として提示されたのがコレクション収蔵のための美術館建設であり、現在の国立西洋美術館である。名画の数奇な運命とタブローに賭けた男たちの情熱に感銘。　(岡部)

『ひ と』　小野寺史宜 著

ひとは人生でどれだけの人と縁あって知り合うのだろう…。これは両親を亡くし、たった一人で生きていかなくてはならなくなった 20 歳の青年の 1 年間を切り取った物語です。見えなくなった未来に光が射したのは商店街にあるお総菜屋さんでコロッケを譲った時でした。ひとりぼっちだと思っていた自分は決して一人ではないと気付く。ひとの温かさやつながりの大切さに触れ悲しみ以外の涙があることを知り、少しずつ前に進んでいく姿に心を打たれます。　(金子)

水野 信也　先生（コンピュータシステム学科）の

一 手 指 南

推　薦　図　書

『白い宴』　　渡辺淳一 著

『４０　翼ふたたび』石田衣良 著

『天使と悪魔』　ダン・ブラウン 著

僕が中学生の頃、特に読書の習慣もなかったのですが、「白い宴」の本と偶然出合い、大きなインパクトを受けたことはよく覚えています。この本は、日本で最初の心臓移植手術を行ったときの話を、同じ病院の医師でもあった著者が、ドキュメント性を持たせて描いたものです。医療での技術と倫理の両面を考えさせられる内容で、僕はこの本に引き込まれるように、一気に読んでしまったことを覚えています。中学生の僕にとって、医療分野のことはなかなか知る機会はなかったのですが、この本に出会い、自ら興味を持つようになりました。僕は現在情報分野での研究をしていますが、技術的な発展、それに相反する倫理的な問題は同じような構図です。1976 年の発行ですが、今読んでも十分に魅力的な本だと思います。

次に紹介する本は、僕が 40 代に入り、ちょうど出会った本で、「４０　翼ふたたび」です。40 歳にして今まで勤めてきた会社をドロップアウトして、投げやりに起業した主人公が、いろいろなタイプの人に出会い、少しずつ人生に対しての見方を変え、幸せについて考えていきます。僕も 40 代に入り、特に体力面で、今までできていた事が出来なくなっていたりと衰えを感じることも多いですが、この本を読んで元気になれた気がします。10 代、20 代の学生のみなさんには 40 歳はまだまだ先、と感じると思いますが、年代を超えて楽しめると思います。

最後に紹介するのは、映画化もされているので有名な本ですが、「天使と悪魔」というバチカンを舞台とした本です。僕もローマが好きで何度も行っているのですが、その度にバチカン博物館やサン・ピエトロ大聖堂を訪れます。この本では周りの風景や、建造物の描写が詳細にされており、容易に想像出来ます。バチカンに行った事が無い人でも、聞いた事がある歴史的な単語が出てきて、十分楽しめると思います。ストーリーの中には、原子核研究で有名なセルン研究所も出てきて、宗教、科学、歴史が噛み合っていてとても面白い本です。まずは日本語訳を読んでストーリーを理解した後、英語の原著にチャレンジするのもいいかもしれません。

【所在】
「天使と悪魔」上・下　楽しむコーナー 933/B77
★映画DVD　ＡＶコーナー

『ひとはなぜ戦争をするのか』
A･アインシュタイン／S･フロイト著

誰もが一度は考えたことがあるであろうこの素朴な、そして難解な疑問について、かのアインシュタインとフロイトが交わした往復書簡。この二人に接点があったことへの驚きもさることながら、偉大な賢人がこの問題をどう考えるのか大変興味深い。アインシュタインはフロイトへの手紙をこう締めくくっている。「あなたの言葉がきっかけになり、新しい実り豊かな行動が起こるに違いない」と。現代に生きる私たちは果たして二人の思いに応えられているだろうか…　　（奈良谷）

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』
ブレイディみかこ　著

イエロー（日本人）とホワイト（アイルランド人）の両親の元に生まれ、イングランドの地方都市で育った少年と著者である母（日本人）の日常を通して、イギリス社会の現実が描かれる。階級社会、人種差別、貧困、宗教、セクシュアリティ…ニュースからは伺い知ることのできない、複雑な社会構造のなかで生じるエピソードの中には、多様性について考えるためのヒントが詰まっている。困難に直面しても力強く乗り越えていく子どもたちの姿をみていると、未来に希望を持ちたいと思えた。　　（古橋）

学生サポーターだより

図書館で活動している学生サポーター「コンシェルジュ」と「LA」
それぞれの４年生に、活動について聞いてみました

コンシェルジュ

牧野仁志さん
（コンピュータシステム学科）

Q１： コンシェルジュとして活動してみようと思ったわけは？

自分の知らない分野の本にも触れる機会になると思ったので参加しました

Q2： 活動で印象に残っていること、やりがいに感じたことは？

学習相談に来た学生の相談内容が解決した時に、笑顔になってくれるのはやりがいを感じますね

Q3：苦労したことはありますか？

他学科の学生から相談を受けたときや、相談者が 2,3 人来たときなどは大変です。でもその**経験が自分の成長にも繋がる**ので楽しんで対応させてもらっています

Q4： コンシェルジュの今後に期待することは？

メンバーの増員と、相談件数の増加に期待しています!

図書館総合展では、ポスターセッションや学生協働サミットに参加・発表しました

来場者に活動の説明をする牧野さん

LA

片岡由奈さん
（物質生命科学科）

選書、POP 制作、読書会、ビブリオバトルなどの活動を通して、読書への興味を深め、交流しました

LA 読書会のようす

Q1： LA に参加したきっかけは？

興味があったので、すでに参加していた友人に相談していっしょにつれてきてもらいました

Q2： ビブリオバトルはやってみてどうでしたか？

本当に楽しかったです。好きだからこそ誰かに本の面白さを伝えたいとずっと思っていたので、**最高の舞台**を教えてもらいました。ビブリオバトルに賭けたこの４年間は、何物にも代え難い財産になったと断言できます!

Q3：LA の活動で楽しかったことは？

選書ツアーです!
どんな本を選んだのか聞き、本好きな仲間と交流を深められました

Q4：LA の後輩に期待することは？

“ただの本好き” で終わってほしくないですね。**本を通して人を知る**と、人と本の本質が見えてきます。いろんな人が集まっている「大学」で、たくさんの人や本に出会ってほしいな

LIBRARY CALENDAR

☆開館時間： 9：00～20：00　9：00～18：00　☆休館日：

2 月						
日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	・	・	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3 月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	・	・	・	・

- 2月3日(月)～3月31日(金)までの開館時間　9:00～18:00
- 3月16日(月), 23日(月) は休館

【編集後記】この冬は暖かい日が続き、雪不足で営業できないスキー場もあるようです。巨大台風やゲリラ豪雨なども地球温暖化の影響なのでしょうか。環境問題について、ひとりひとりが真剣に考えて行動していかなければいけない時なのだと実感します。図書館では環境問題や SDG s に関連する資料も積極的に収集、提供していきたいと思います。

静岡理工科大学図書館報　No. 66　2020年　2月　1日発行
編集・発行　静岡理工科大学附属図書館　〒437-8555 袋井市豊沢2200-2
TEL: 0538-45-0231, FAX: 0538-45-0230, URL: http://www.sist.ac.jp/lib/,　E-mail: tosyokan@sist.ac.jp